

日韓文化交流基金講演会 韓国時代劇を楽しむ

—— ドラマに描かれた歴史の世界 —— (抄録)

「トンイ」、「イ・サン」など、韓国時代劇の人気が高まる昨今、ドラマを通して韓国の歴史に興味を持つ人々が増えています。視聴者にとって最も気になるのは、ドラマに描かれた歴史がフィクションなのか、真実なのか、ということではないでしょうか。描かれた歴史の本来の姿を探りながら、ドラマをさらに楽しむ方法を『知れば知るほど面白い 朝鮮王朝の歴史と人物』の著者、康熙奉さんにお話いただきました。
[2012年3月1日(木)、日韓文化交流基金会議室]



朝鮮王朝の王たち

朝鮮王朝は王を中心に、政治をはじめとするあらゆることを司っていたので、王がどんな人物かということがとても重要になってきます。初代の太祖から最後の純宗まで27人の王がいますが、その名前に着目して見ていくと、興味深いことがわかってきます。王の名は諱や諡と言いますが、これは死んだ後に付けられる名前です。法則性があり、「-祖」「-宗」「-君」がみられます。どのような違いがあるかという点、大体常識的な王であれば「宗」が付けられます。「君」はクーデターで追放されるなどして、諡を与えられなかったので王子のときの名がそのまま後世に残されたのです。燕山君と光海君がそれに当たります。「祖」は功績の多かった王に付けられます。しかし、本来、立派な王に付けられるはずの「祖」が、問題の多い王にも付けられている例があります。それが7代目の世祖、14代目の宣祖、16代目の仁祖。23代目の純祖に付いているのも不思議な感じがします。その逆に4代目の世宗、ハングルを作り、名君中の名君と呼ばれているのに「祖」が付いていません。なぜ、名君の世宗に「祖」が付いていないのか。実は、当時はハングルを作りだしたことはそれほど重要な功績とは考えられていなかったのです。今でこそ民族独自の文字としてハングルは重用されていますが、当時の知識階級は漢字を重視し続けました。歴史的な評価というのは、時代によって変わることなのです。

『朝鮮王朝実録』と韓国時代劇

朝鮮王朝には、王の毎日の言動やその時の政治の動きなどさまざまなことを記録する人がいました。王の死後、例えば世宗の治世ならば「世宗実録」という形で王の業績を文書で残しています。総称して『朝鮮王朝実録』と呼んでいます。膨大な量の記録が残っているのです。

2000年代の初めの頃までは、この『朝鮮王朝実録』を基にしたドラマが多く作られました。細かい描写があるので、参考にすればかなりのシナリオができるのです。例えば、「龍の涙」(KBS、1996～1998年)、「王と妃」(KBS、1998～2000年)、「女人天下」(SBS、2001～2002年)などがあげられます。これらの作品は史実にかなり忠実に作られています。そのなかでも現在の時代劇ブームの一番の功労作品と言われているのが、「龍の涙」です。

「龍の涙」の功績

「龍の涙」は、初代太祖から3代太宗までの朝鮮王朝初期の激動時代を描いたドラマです。1996～1998年にかけて放送されましたが、ちょうど1997年に金大中が当選した大統領選挙があり、いろいろな候補が連合したり離れたりしたのですが、当時の政治と「龍の涙」に描かれている王権争いが非常にリンクしていることと相まって、一気に人気が高まりました。それまでの韓国時代劇は、同じようなネタが多くてあまり人気がありませんでしたが、この「龍の涙」の大ヒットによって、「なるほど『朝鮮王朝実録』に基づいて作ればこれだけ面白いドラマが作れるのだ」ということになり、これ以降いろいろなドラマが生まれたのです。

「龍の涙」では、初代太祖とその後継者争い、1398年の「第一

● 歴代朝鮮王

| 代 | 名前 | 読み | 生年と没年 | 在位期間 |
|----|-----|--------|------------|------------|
| 1 | 太祖 | テジョ | 1335～1408年 | 1392～1398年 |
| 2 | 定宗 | チョンジョン | 1357～1419年 | 1398～1400年 |
| 3 | 太宗 | テジョン | 1367～1422年 | 1400～1418年 |
| 4 | 世宗 | セジョン | 1397～1450年 | 1418～1450年 |
| 5 | 文宗 | ムンジョン | 1414～1452年 | 1450～1452年 |
| 6 | 端宗 | タンジョン | 1441～1457年 | 1452～1455年 |
| 7 | 世祖 | セジョ | 1417～1468年 | 1455～1468年 |
| 8 | 睿宗 | イェジョン | 1450～1469年 | 1468～1469年 |
| 9 | 成宗 | ソンジョン | 1457～1494年 | 1469～1494年 |
| 10 | 燕山君 | ヨンサングン | 1476～1506年 | 1494～1506年 |
| 11 | 中宗 | チュンジョン | 1488～1544年 | 1506～1544年 |
| 12 | 仁宗 | インジョン | 1515～1545年 | 1544～1545年 |
| 13 | 明宗 | ミョンジョン | 1534～1567年 | 1545～1567年 |
| 14 | 宣祖 | ソンジョ | 1552～1608年 | 1567～1608年 |
| 15 | 光海君 | クァンヘグン | 1575～1641年 | 1608～1623年 |
| 16 | 仁祖 | インジョ | 1595～1649年 | 1623～1649年 |
| 17 | 孝宗 | ヒョジョン | 1619～1659年 | 1649～1659年 |
| 18 | 顯宗 | ヒョンジョン | 1641～1674年 | 1659～1674年 |
| 19 | 肅宗 | スクジョン | 1661～1720年 | 1674～1720年 |
| 20 | 景宗 | キョンジョン | 1688～1724年 | 1720～1724年 |
| 21 | 英祖 | ヨンジョ | 1694～1776年 | 1724～1776年 |
| 22 | 正祖 | チョンジョ | 1752～1800年 | 1776～1800年 |
| 23 | 純祖 | スンジョ | 1790～1834年 | 1800～1834年 |
| 24 | 憲宗 | ホンジョン | 1827～1849年 | 1834～1849年 |
| 25 | 哲宗 | チョルジョン | 1831～1863年 | 1849～1863年 |
| 26 | 高宗 | ゴジョン | 1852～1919年 | 1863～1907年 |
| 27 | 純宗 | スンジョン | 1874～1926年 | 1907～1910年 |



株式会社一石堂代表 **康熙奉**

次王子の乱」、1400年の「第二次王子の乱」が描かれています。このドラマの中に神徳王后・康氏という太祖の后が登場しますが、継子にあたる3代太宗が「第二次王子の乱」を経て王位を継いだため、すでに亡くなっていたにも関わらず、位を下げられたり墓を破壊されたりしました。実は、この神徳王后・康氏こそ、信川康氏、私の先祖なのです。8代目の康永は神徳王后の従兄弟にあたるため、太宗により済州島に流されます。それまで、済州島に「康」という名字の人は一人もいませんでした。済州島の場合、このように陸地から来て子孫を増やした人を「入島一世」といいます。そういう歴史の顛末があり、巡り巡って私が27代目なのです。

ドラマ「太陽を抱く月」・「王女の男」

韓国は2011年の後半から大変な時代劇ブームです。「太陽を抱く月」(MBC、2012年)は、視聴率40%を超えるほどの人気です。このドラマは朝鮮王朝を描いているのですが、実在の王ではなく、架空の王の設定です。実在しない王を扱ったドラマは恐らく韓国時代劇でも初めてではないでしょうか。このドラマでは巫女が重要な役割を果たします。韓国で人気を博した理由として、巫女・シャーマニズムが韓国の生活に今でも根付いていることがあるように思います。特に私の両親の故郷、済州島は地方ということで土着性が強いのか、巫女が未だにお祓いをやっています。また、架空の王様の話といっても、朝鮮王朝時代の生活や現代韓国につながるような話がかなり盛り込まれているという印象です。

同じく大ヒットしたのが「王女の男」(原題は「公主の男」、KBS、2011年)です。このドラマは今年の7月からNHKで放送されることが決定していますが、日本でも大ブームになるのではないかと思います。1455年の王位強奪事件を題材として作られています。

4代世宗が1450年に亡くなり、長男の文宗が後を継ぐのですが2年ぐらいで亡くなってしまいます。世宗の長男が文宗、二男が首陽です。朝鮮王朝では長男が亡くなったら、その息子が後を継ぐのが原則ですので、当然その長男の端宗が後を継ぎましたが、11歳とまだ幼く、とても一人で王位を守ることができません。そこで頼りにしたのが金宗瑞という世宗時代から王の信頼の篤かった重臣です。

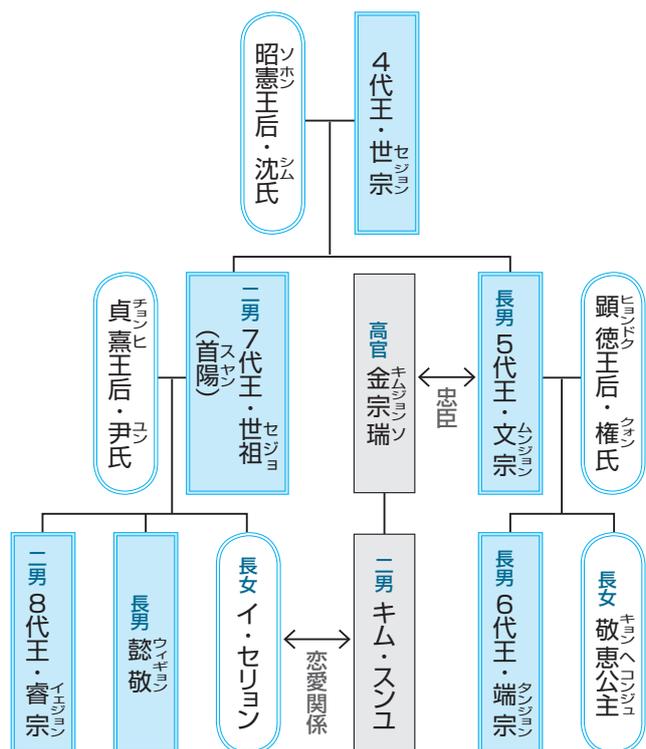
長男が王位に就けば二男は諦めてしまうものですが、首陽は大変な野心家で、幼い甥が王になると露骨に王位を狙い始め、当然ながら端宗の後見人の金宗瑞と対立します。「王女の男」はこの政敵同士の首陽の娘と金宗瑞の息子が恋仲になるという、いわば朝鮮王朝版ロミオとジュリエットの話なのです。さらに歴史的な王位強奪事件が絡んできますので、政治ドラマとしても見どころ十分です。

韓国時代劇 人気の理由

韓国で時代劇が人気を博す理由は何でしょうか。第一に、歴史好きな国民性。激動の時代を経てきたこともあり、歴史に対する意識が高いのです。第二に、話をすぐに大げさにしてしまうという韓国人の性格(笑)。記憶喪失のエピソードなど、ドラマを面白くするためには何でもやります。第三に、成功物語であること。貧困や差別などの苦難を経ても、最後には成功するというストーリー。これは朝鮮戦争後の貧困の中から「漢江の奇跡」という経済成長を成し遂げた自信から生まれています。

他にも理由はたくさんありますが、韓国人は元来ドラマ好きです。その根底には他人に対して、大変関心を持っているということがあってはならないでしょうか。とにかく、世話好きで好奇心があるという性質が、時代劇にぴったりだったのではないかと、私は分析しています。

●「王女の男」の人物相関図



※キム・スヌは架空の人物。イ・セリョンの実在は立証されていない。

Profile

康熙奉 (カン・ヒボン)

1954年東京生まれ。在日韓国人二世。
東洋大学工学部建築学科、日本大学文理学部史学科卒業。株式会社一石堂代表。
隔月刊誌「愛してるっ!!韓国ドラマ」(TOKIMEKIパブリッシング刊)編集長。
主な著書は、「済州島・韓国楽園紀行」(スリーエーネットワーク、2003年)、「ペ・ヨンジュンという生き方」(新幹社、2006年)、「夢見る韓流:冬ソナとペ・ヨンジュンに魅せられて」(右文書院、2007年)など。2011年には「知れば知るほど面白い 朝鮮王朝の歴史と人物」(じっぴコンパクト新書)がベストセラーに。